

1. 水道事業におけるアセットマネジメント

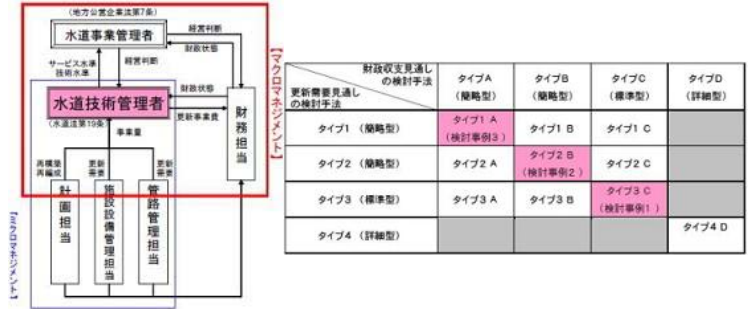
概要

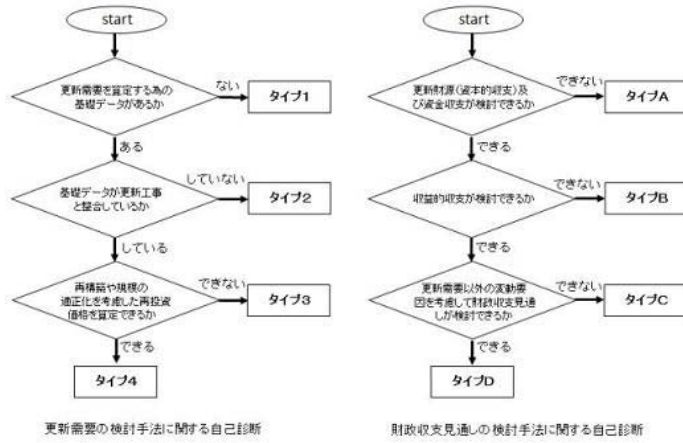
水道におけるアセットマネジメント(資産管理)とは、「水道ビジョンに掲げた持続可能な水道事業を実現するために、中長期的な視点に立ち、水道施設のライフサイクル全体にわたって効率的かつ効果的に水道施設を管理運営する体系化された実践活動」を指すものであり、厚生労働省健康局水道課より、水道事業におけるアセットマネジメント(資産管理)に関する手引きが示されています。

業務実施のメリットや効果

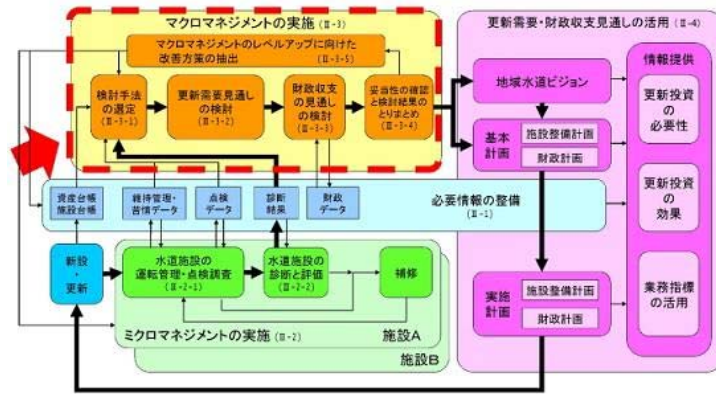
- ① 基礎データの整備や技術的な知見に基づく点検・診断等により、現有施設の健全性等を適切に評価し、将来における水道施設全体の更新需要を掴むとともに、重要度・優先度を踏まえた更新投資の平準化が可能となります。
- ② 中長期的な視点を持って、更新需要や財政収支の見通しを立てることにより、財源の裏付けを有する計画的な更新投資を行うことができます。
- ③ 計画的な更新投資により、老朽化に伴う突発的な断水事故や地震発生時の被害が軽減されるとともに、水道施設全体のライフサイクルコストの減少につながります。
- ④ 水道施設の健全性や更新事業の必要性・重要性について、水道利用者や議会等に対する説明責任を果たすことができ、信頼性の高い水道事業運営が達成できます。

- ◆ 固定資産台帳、管路台帳、水道統計、決算書を基に作成が可能です。
- ◆ 複数ケースの検討により、中長期的な財政見通しを可能とします。





マクロマネジメント



マクロマネジメント（更新需要・財政収支見通し）

- ①更新需要の検討
 - 更新時期の設定。
 - 再投資価格の設定。
 - 施設等の重要度・優先度、健全度・耐震性能を考慮。

- ②財政収支見通しの検討
 - 更新需要の検討結果を反映。
 - 資金ショートさせないよう、起債、料金改定などの更新財源確保方を簡易なシミュレーションにより検討。

